

町長の行政報告



池田町長

平成29年度一般会計 決算の特徴

平成29年度は前年度に引き続き防災・減災対策に取り組む、吾北総合支所では庁舎の耐震化に加え、自家発電設備を整備するなど防災拠点としての機能強化を図った。

伊野小学校校舎が完成し、平成29年9月から授業をしている。

農林業振興では、生姜の集出荷場などを整備した産地パワーアップ事業や造林・間伐などの森林整備事業を実施した。

保健福祉では地域福祉の充実、観光振興では仁淀川

や石鎚山系の魅力を発信。中山間地域対策では、集落活動センターや給水施設整備への支援を行い、中山間地域の維持・活性化を図った。

平成30年7月豪雨

今回の豪雨により被災された市町村に、県を通じて150万円の義援金を寄付した。

町においては住家へのがけ崩れ、道路施設の倒木、路側・道路斜面の崩壊が多数発生したため、順次復旧作業を行っている。

ブロック塀への対応

大阪北部地震で学校のブロック塀が倒壊し、女子児童が尊い命を失った。

教育委員会は、休園・休校を含む幼稚園・保育園・

小中学校のブロック塀の安全点検を実施した。

点検の結果、建築基準法施行令上、違法なブロック塀はなかったが、安全をより確保するための対策を講じている。

中心市街地の活性化

「いの町中心市街地活性化構想」をもとに予定していた元町仮倉庫の改修は、現地の水量調査で、紙漉きに必要な地下水が確保できないことが判明した。

事業関係者と協議を重ねた結果、当初予定していた事業内容で進めることが困難になり中止を決定した。

その後、関係者と協議し、中心市街地の活性化を協議する「いの町中心市街地活性化協議会」を平成30年8月13日に立ち上げた。今後はワーキンググループの意見を提案してもらい、協議会で中心市街地活性化の計画を策定していく。

いの町水道事業経営 審議会の進捗状況

厳しい経営状況が見込まれている水道事業会計において、経営健全化を図るために水道事業経営審議会を設置し審議をしている。

第1回は平成30年7月19日、水道事業の現状と課題について審議した。第2回は8月27日で、料金体系と料金水準について検討した。第3回は10月4日に予定しており、適正な料金水準などについて審議する。

第26回全国消防操法 大会への出場

平成30年10月19日に富山県で開催される第26回全国消防操法大会に、いの町消防団枝川分団が高知県代表としてポンプ車の部で出場する。

選手は4回目の全国制覇を目指して練習に取り組んでいる。

高知西バイパスの状況

鎌田インターから終点の波川間の工事は平成32年度を開通目標として鋭意工事を推進してもらっている。

J R土讃線及び鎌田井筋をまたぐ橋は、軟弱地盤であるとともに、J R軌道敷、鎌田井筋に接近しているため、施工の制約があり、期間を要するが、国土交通省において着実に工事を進めてもらっている。

また、供用している高知自動車道伊野IC交差点付近から高知市方面において、朝晩の通勤ラッシュ時には渋滞が発生している中で、4車線化の要望をしている。



枝川分団